

漁海況情報

平成27年9月4日 第10号(通巻570号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク ホームページ】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【ウルメイワシの漁況予報】

ウルメイワシの漁況について、現在当センターが入手している情報から今期の予測を行いましたので参考にしてください。

【今後の見通し】

漁獲量：前年並み～前年をやや下回る

漁期：小・中羽(全長15cm以下)：～9月

大羽(全長15cm以上)：9、10月

【予測の根拠】

1. 漁獲量の長期変動傾向

1) 湊市場の漁獲量と漁期

浮敷網(棒受網、すくい網)による漁獲量の推移は、1989年をピークに、それ以降減少傾向にある。銘柄は1989年までは小・中羽が主体であったが、1990年を境に大羽の割合が増加している(図1)。近年は7～8月から小・中羽が漁獲されはじめ、9月から大羽が混じるようになり、10月末頃に漁期が終了する。

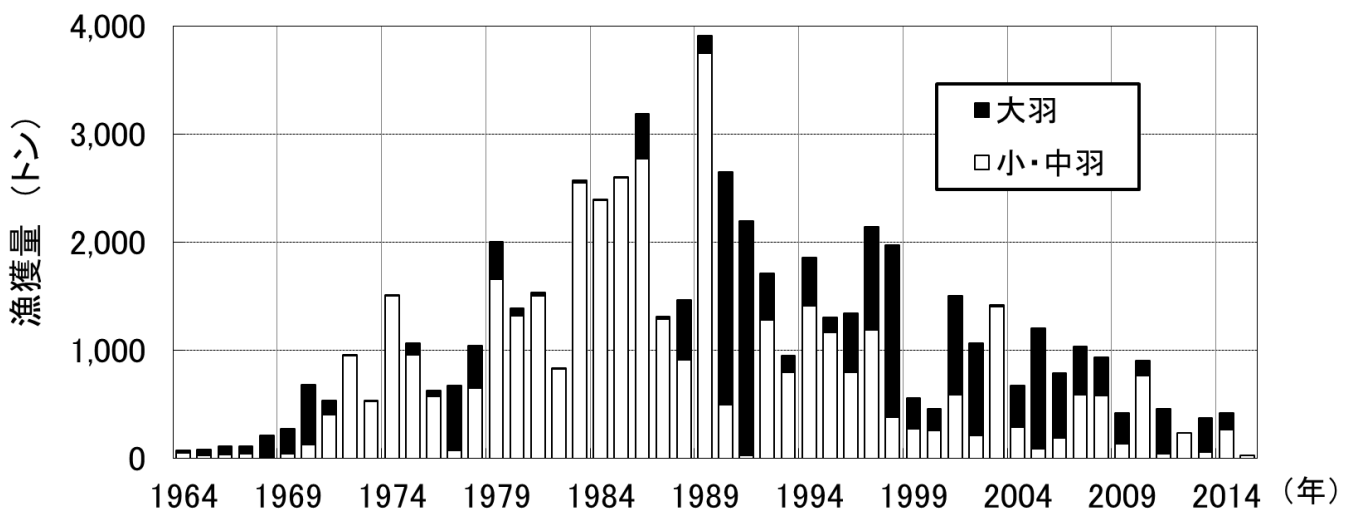


図1 山口県漁協湊市場のウルメイワシ銘柄別漁獲量の推移(1964-2015年)

(※2015年の漁獲量は8月末までのもの)

2) 初漁期漁獲量と年間漁獲量

湊市場の初漁期（7～8月）漁獲量と年間漁獲量との間には正の相関がみられる（図2）。本年7～8月の漁獲量は26トンであったので、下図の関係式より、年間漁獲量は443トンと予測された。

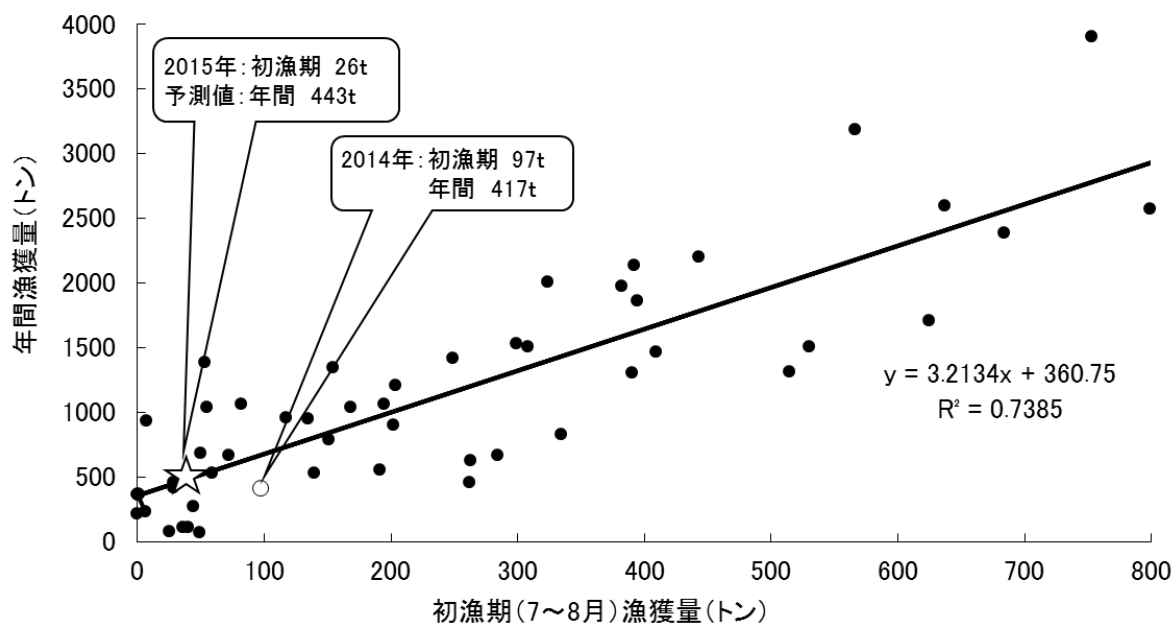


図2 山口県漁協湊市場のウルメイワシ初漁期漁獲量と年間漁獲量の関係（1964-2014年）

2. 本年の漁獲量の動向

1) 湊市場の浮敷網による漁獲動向（今年8月末まで）

例年は7月下旬～8月上旬に小・中羽が漁獲され始めるが、本年のまとまった漁獲は8月下旬からで、例年より遅かった。

2) 西部他県の漁獲動向

長崎県北松南部海域で操業する中・小型まき網の4～8月の漁獲量は、中～大羽主体に560トン（前年同期比39%、平年（過去5年平均）：714トン）同期比78%）であった（長崎県総合水産試験場発行・漁海況週報より集計）。

3. 今後の見通し

初漁期の漁獲量と年間漁獲量の関係式では前年並みの漁獲量と推定されたが、本年は前年よりも初漁期の漁獲量が少なく、長崎県でも前年以下の漁獲量であることから、漁獲量は前年並み～前年をやや下回ると予測されます。